

## 2022年12月 浜松聖書集会のご案内

(時間: 午前10時 ~ 正午)

- 12月4日(日) 集会 (アクト研修交流センター36セミナー室)  
司会: 武井 めぐみ 感話: 大屋 智代  
聖書講話: マルコによる福音書 13章24~37 節  
「目を覚ましていなさいー終末の心構え」 水戸 潔
  
- 12月11日(日) 集会 (アクト研修交流センター36セミナー室)  
司会: 永井 徹 感話: 伊藤 純子  
聖書講話: ガラテヤの信徒への手紙 2章 16節  
「パウロに於ける信仰の意味と役割」 榎本 潤
  
- 12月25日(日) クリスマス集会 (クリエート浜松22号)  
司会: 水戸 潔 10時~13時半まで  
・ 聖書講話: ルカによる福音書 2章8~21節  
「地には平和、御心に適う人にあれ」 武井 陽一  
・ 感話会 (一人3分程度) 愛餐会  
当日、お弁当、お菓子を用意しますので、出席者は武井まで  
申込み下さい。食事代 700円(予定)。

・・・通 信・・・

- 2023年1月1日(日)、集会は休みとします。8日より始めます。
- 2023年の聖書集会当番について  
別紙の通り案を作成しました。ご覧になって自分の担当で都合が悪いところや、負担がありましたら、武井まで お知らせ下さい。

### 「イエスの降誕と21世紀」 (大阪クリスマス講演より) 溝口 正

遂に神の時が満ちて預言された通り、ひとりのみどりごがお生まれになりました。今日の集まりは、このみどりごイエスの降誕によって救いがこの世に到来した。全人類の救いと生命の希望がイエス・キリストの降臨にかかっていることを信じ、感謝を喜びと希望を胸に抱いてお祝いし間もなく二一世紀を迎える我々の使命を考えるための集まりであります。

イエスの第一声は「時は満ち、神の国は近づいた。悔い改めて福音を信じなさい」(マルコ1・15)であります。神の国というのは、全宇宙、万物、全人類を想像された超越的な神の御支配ということですから。その御支配がすぐそこまで近づいた。力ある神、永遠の父として預言されたイエス・キリスト御自身が、この世に來り賜うたことによって「近づいた」と言うよりも「この世に來た」ことを言われたのだと思います。しかもこの世の罪と死のうず巻く真只中(まっただなか)の、そのドン底とも言うべき飼葉桶の中へ「力ある神」「永遠の父」が人の子としてお生まれになった、このことは、ドン底から神の御支配(神の国)が始まったということではないでしょうか。このことよって今や人類の救いが完成する時代に突入しら。…

ここで私の痛感することは、イエスさまは、悔改めて福音を信ずればそのことを条件に、神の国(天国)へ入れてあげる、とは言われていない、ということです。まさにその逆であって、神の方から救いがこの世の中へ来て、君(あなた)を救いの中に包んでいる。君はすでにキリストの恵みによって救われているんだ。受け入れなさい、とそのように言われているのだと私は信ずるのです。重ねて申しますが、人間の方から神に近づくことはできないのです。神の方から地上の罪人を救うために人の子の姿をとって来て下さったのです。これがイエス・キリスト御降臨の最も深い意味であると私は信じます。

(1998年1月『復活』第374号)